

地域未来創造会議（八代地域）議事概要

- 1 日時 令和7年2月5日（水） 15:30～17:00
- 2 場所 県南広域本部（八代総合庁舎）5階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 市町長
中村八代市長、藤本氷川町長
 - (2) 県議会議員（オブザーバー）
坂田議員、高野議員、亀田議員、幸村議員
 - (3) 県
[本庁]
木村知事、浦田局長、若杉地域振興課長、阿南市町村課長 他
[広域本部]
岡村本部長、宮川総務部長、山田振興課長 他
- 4 議事内容
 - (1) 知事から ～八代地域の未来への想い～
 - (2) 市町長からコメント
 - (3) 意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

概 要

会議では、若者・人材の地元定着の方策（企業誘致、教育環境の充実等）、農業振興・農地整備等のあり方、八代・天草シーライン構想、防災対策等に関することが話し合われた。主な意見は次のとおり。

1 若者・人材の地元定着の方策（企業誘致、教育環境の充実等）

- ・県営工業団地をいかに活かしていくかが大きな課題であり、県と連携して企業誘致に取り組みたい。また、新八代駅周辺整備について、スポーツ関係を中心に人を呼び込めるような大規模集客施設の整備・運営に取り組みたい。
- ・県営工業団地の整備も踏まえた氷川警察署跡地や竜北地区での住宅整備や、農村産業法等を活用した新たな工業用地の確保、企業誘致に取り組みたい。
- ・TSMCの進出効果の波及に当たって、八代は利用できる水が限られているため、水利用が少ない企業（半導体後工程等）を中心に誘致すべき。
- ・若者の八代への呼び込み・定着のため、4年制大学の設置が必要。
- ・八代に大学があることはいいことであり、運営も厳しい状況ではあるが、いずれかの大学にアタックしてもいいのではないか。また、八代の各高校は特色ある学校づくりに励んでおり、各高校の良さを最大限発揮できるような支援が必要。
- ・優秀な人材を八代に残せるような教育環境や就労環境の整備が必要。
- ・若者の定住やU I Jターンを促進するため、八代で安心して出産できる周産期医療提供体制等の確保が必要。

2 農業振興・農地整備等のあり方

- ・農業振興地域について、農地として守るべき土地は守りながら、工場や住宅等の農地以外で活用した方がよい土地は活用を図っていくことが必要。
- ・農業被害について、気候変動対策として新たな作物や栽培技術等の研究と農家への普及

- が必要であり、鳥獣被害対策として市町村単位ではなく県や国レベルでの対応が必要。
- ・農地整備について、干拓地としての特殊性や、生産性・収益性を踏まえた支援が必要。
 - ・アグリシステム総合研究所について、スマート農業等の機能強化や八代農業高校との連携が必要。

3 八代・天草シーライン構想、防災対策等

- ・八代・県南地域の発展は八代・天草シーラインにかかっており、計画路線への変更を早期に進め、1年でも早い実現が必要。
- ・八代・天草シーラインの整備は、国直轄事業の地域高規格道路として県南地域・近隣県も含めた体制での強力な推進が必要。また、防災対策としても重要。
- ・日奈久断層の存在を踏まえ、安心して住めるまちづくりのため、家屋や公共インフラの耐震化等の防災対策の強化が必要。
- ・坂本町の創造的復興について、魅力的な地域づくりのため、スマートインターチェンジの整備や県道の改良等が必要。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町村で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

- (1) 若者・人材の地元への呼び込み・定着に向けた、企業誘致、新八代駅周辺整備、住宅整備や教育環境等の充実等の取組み
- (2) 農業の持続的な振興に向けた、状況を踏まえた農地の確保・整備、気候変動・鳥獣被害対策やアグリシステム総合研究所との連携強化等の取組み
- (3) 八代・天草シーライン構想の推進、防災・耐震対策の強化や坂本町の創造的復興等の取組み

(以上)